

- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

3年 りんご学習

8月26日に3学年が盛岡農業高等学校でりんご栽培の学習をしました。今回は袋がけしているリンゴの袋を外し、自分でデザインしたシールをリンゴに貼る作業をしました。

前回の学習で農業高校の生徒さんと親しくなっている子ども達、時には生徒さんとおしゃべりをしながら楽しく作業をしました。地元にある高校の生徒さんとの交流を通して、滝沢の特産品であるりんごの栽培について興味をもって取り組み深く学ぶことができました。

日光を浴びたりんごは、どんどん赤くなりシールの部分がかっきりと浮かび上がってきます。たった一つのマイりんご、とても楽しみにしている子ども達でした。



安全朝会（スクールガードの方々の講話）



8月28日に、スクールガードの方々にお越しいただき、安全朝会を実施いたしました。

一本木駐在所所長の山田篤志様からは、最近一本木でも熊が出没していること、一本木に出没している熊は比較的臆病で音を出すと逃げていくので、万が一熊が出たときは防犯ブザーを鳴らすとよいことを、スクールガードの角掛勘次様からは、

歩道の歩き方や安全な道路の横断についてお話をいただきました。

また、8月いっぱいスクールガードをお辞めになった蓬田和子様には、太田PTA会長より感謝状が贈呈されました。蓬田様にはバスに乗車する子ども達の見守りだけではなく、「iGUC Aカードがランドセルについている？」といった声がけや、バス停付近の除雪までしてくださいました。おかげ様で子ども達は事故なく安全に登校することができました。今まで子ども達のために本当にありがとうございました。

【お礼の言葉 6年 赤坂 楓太さん】

蓬田さん、これまでスクールガードの活動ありがとうございました。毎朝バス停に来てくださって、待ち方が危ない人を注意してくださったり、1年生と楽しく会話してくださったりしました。バスに乗るときに、「気を付けてね。」と声をかけてくださり、僕は安心な気持ちになりました。毎日活動してくださり安全にそして安心して学校に通うことができました。蓬田さんがいてくださることで、けがや事故がありませんでした。

蓬田さん今まで本当にありがとうございました。これからはバスリーダーとしてみんなに声をかけていきたいと思います。



P T A教養部主催家庭教育学級開催

8月31日（土）に、P T A教養部主催の家庭教育学級が開催されました。今回は長内工房の長内潤子様を講師にお迎えして、陶芸教室を行いました。当日は、児童・保護者・職員21名が参加しました。

握りこぶし程度の大きさの粘土で、カップやお皿、一輪挿し等を制作しました。

子ども達は思い思いの形に成形し、好きな模様を描いたり型押ししたりして、丁寧に作品を仕上げました。講師の先生から、とても上手に成形しているとお褒めの言葉をいただきました。この後工房にて低温で一度焼き、色付けをしたあともう一度高温で焼き完成となります。6年生の瀬川暖心さんは「久しぶりに陶芸をした。難しかったところもあったけどうまくできた。」と、小田島夏心さんは「初めて陶芸をした。やる前は難しそうだったけれど、やってみたら意外と簡単で上手にできた。」と感想を発表しました。完成が待ち遠しいです。



4年 防災学習

4年生は総合的な学習の時間で岩手山の噴火と防災について学習しています。9月3日に藤沢昭子様をはじめとする古文書解読研究所の方々に来校いただき、1686年（貞享3年）に発生した岩手山の最大規模の噴火について、大きな紙芝居で教えていただきました。この紙芝居を通して、この噴火は10日間も続き岩手山の周辺に大きな被害をもたらしたことが、そして、その40年後に焼走り溶岩流ができたことを学びました。

この学習を経て、9月10日にはイーハトーブ火山局（岩手山火山防災情報ステーション）に見学に行き、岩手山が噴火したときに、どこでどのような災害が起きる可能性があるのか、またその災害から身を守るためにとるべき行動などについて学習しました。青空の下お弁当を食べた後は、紙芝居で学習した焼走り溶岩流を実際に歩き、その広さから噴火の威力と恐ろしさを、それと同時に山の景色の美しさを感じることができました。



4年生はこれから紙芝居や火山局の見学等で学んできたことを考察しながらまとめ、自分達の学びを3年生にプレゼンする学習を進めていきます。最近岩手山の山体の膨張が確認されているというニュースを見ました。災害に対して常に備える意識をしっかりとつことができた4年生でした。

